

# 6-12

## アロマセラピー導入に向けての取り組み

アロマセラピーによる浮腫み等の改善・気分転換を図る

サービスの質の向上

快適な環境の提供

特別養護老人ホーム みずべの苑

ケアワーカー 松浦 藍子	ケアワーカー 後藤 亜紀子
東京都北区志茂3丁目6番地13号	アロマボランティア 山田 恵巳
03-3598-2111	E-mail tokuyou@ma.kitanet.ne.jp
03-3598-9903	URL <a href="http://www.urara.or.jp/">http://www.urara.or.jp/</a>

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	みずべの苑は、デイサービスセンター・ショートステイ・障害ショートステイ・居宅介護支援事業・ホームヘルプサービス・居宅介護支援センターを併設しており四季折々の活動を通しご利用者様ご家族様に安心とやすらぎを大切にしている施設です。
----------------------------	---

### 〈取り組んだ課題〉

- アロマセラピー導入に向けて職員に周知
- アロマセラピー対象者を決め、プランの立案
- ボランティアに来て頂き、プランに沿ったトリートメントの実施

### 〈具体的な取り組み〉

- 職員とボランティアの連絡係りとして、アロマ係りを立ち上げ、連絡ノートなどを用いて連携を図る
- アロマ係り及びケアマネジャーが、各利用者の居室担当からのケアを実施したいとの依頼を受け、ボランティアにその旨を連絡後、ケア実施の目的を明確にし、アロマプランの立案を開始
- ケアプランと連動して立案している為、アロマプラン完成後は、アロマ導入の目的や、施術の内容・効果を伝え、ご家族様にケア実施の了承を得る
- 2週間に1回又は月1回の間隔で、ボランティアに来ていただき、トリートメントの実施。施術内容やその時の利用者の様子などは、トリートメント実施記録の用紙に記入してもらい、全職員が目を通せる状態にする
- アロマスプレーを作成し、居室の消臭

### 〈活動の成果と評価〉

- アロマ係りを立ち上げた事で、職員・ボランティア相互に対する意見や要望を一括する窓口としての役割を担う事が出来た
- アロマ係りとして活動する事で、足の浮腫みに対しての意識が高まった
- 浮腫みのある方にトリートメントを実施すると、血行が良くなり、紅潮が見られる様になった
- 施術中に外部の方とゆっくりと会話をすることで、笑顔が見られ気分転換にも繋がり、社会性が向上した
- アロマの消臭スプレーを活用する事で、居室の消臭に成功した

### 〈今後の課題〉

- ボランティアだけでなく、職員もトリートメントに入れるよう体制を整える
  - ・ トリートメント方法を学べる講習会の開催
- アロマ係り・ボランティア全体の連携を図り、より良いケアの実践の為に、双方の意向を話し合える会議を定期的に行う
- ボランティアと全職員との関係作り
- アロマ関連に対する再周知の徹底